

第 23 号  
2008年 6月 1日

○発行  
鳥取市立川町 5 丁目 417 番地  
鳥取子ども学園後援会  
電話 (0857) 22-4206

○振込口座  
郵便振替 01490-9-9106  
題字 尾崎悌之助

# 鳥取子ども学園 学園だより

## 新しい指針の学びの年に思いつくや

鳥取みどり園 園長 入江 一 枝

小児科医・毛利子来氏は、雑誌「黙」で次の様に語っておられます。

「育児書とか家庭教育の本を見て、いつも不思議に思うのは、親のことはそつちのけで、子どもだけをこつすべきだ。こうしてはならないという書き方をしています。つまり、子どもの問題が大人と切り離されたところで考えられているわけです。しかし子どもの問題は大人の生き方と恐ろしいほど深いところにつながっているのです。」

「子は親の背を見て育つ」といいます。

子どもは親の言葉だけで育つものではありません。親の立ち居振る舞いを見て、それを模範として育つのだと思います。とすれば、今ある子どもの姿は、とりもなおさず鏡に映した私たち大人の姿といえるのではないのでしょうか。

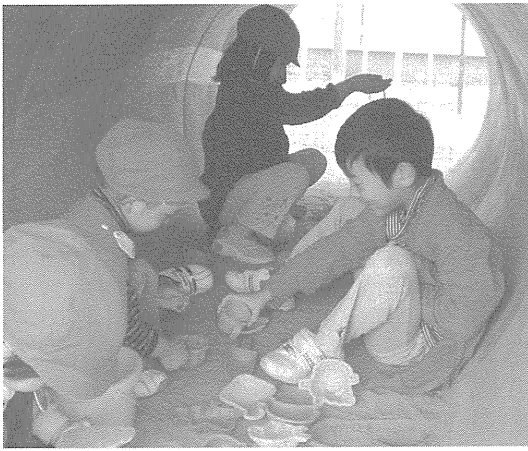
「子どもの問題は大人の生き方と恐ろしいほど深いところにつながっている。」この視点をしっかりと踏まえて子どもたちを守っていくことが大切だと思います。思いやりのある、やさしい子どもに育ってほしいと望むならば、私たち自身が思いやりのあるやさしい大人になること、少なくとも努力をしなければなりません。自分のことを棚にあげておいて、子どもの教育、人の教育はできないと思います。「私に倣うものになりなさい。」と生き様をもって模範を示していく私たちがでありたいと思います。今回「保育所保育指針」の改定がありました。これまでの改定と異なるのは、厚生労働大臣により告示されるという点です。これまで局長通知、つまりガイドラインとしての位置づけだった保育指針が告示化され、法令として遵守すべきものとなりました。

告示化されるということは、現代社会に

おいて保育所が果たす役割や、役割に伴う保育士の専門性への期待が高まり、それゆえの責任が大きくなったということです。

幼稚園と共に就学前の子どもたちの保育・教育を担う保育所が、乳幼児期の子どもの育ちの連続性を踏まえ、保育内容の充実をより図っていかねばならないと思います。一日の大半を園で過ごす子どもたちの「いのち」と安全を守り、人としての生活の営みができる基礎を身につけていくこと。人（友だち・大人）とのかわりを通じ人間関係を中心とする社会性の基礎を育み、身につけていくこと。そして、社会の一員として生きていく知的能力・技術等の基礎を育み、身につけていくこと。また、地域、社会、自然等の「文化」を伝えることではないかと考えます。これらは、日々連続的に家庭、園、地域で展開される子どもたちの遊びと生活の営みの中で身につけていくもので、それを豊かに保障するのが私たち大人の役目ではないかと思えます。

子どもを取り巻く環境は、時代と共に変化し、また、各家庭の様子も多様化している今日、園前の涼やかなグリーンテントと化す桜やメタセコイヤの木のように、地面にどっしりと根を張って、根っこにこだわった保育を心がけ、社会の変革を感じながら、子どもたちの心の声に耳を傾け、感性豊かな、健全な人間づくりの基礎をつくるよう努めていきたいと思えます。



**法人本部**

※第二児童棟(家庭舎)の老朽改築決定。二〇〇八年六月着工。十二月完成を予定。

児童養護施設の第二児童棟は、一九六一年に大舎制から小舎制に切り替えた第一号の建物で、「家庭舎」として四十七年間もの長きにわたって親しまれてきた。この度、耐震化整備国庫補助を得て建てかえることとなった。

平成十九年度補正予算で五千八百八十二万四千円の国庫補助金の決定をいただき、六月中旬には建物の取り壊しが予定されている。

「ひまわりホーム」と「ふじホーム」の二ホーム、木造二階建て計三百八十四・三八平方メートル、総事業費一億九百七十二万五千円の予定である。完成は、今年のクリスマスまでを予定している。

※ニート引きこもり就労支援のための「とっとり若者サポートステーション事業」の委託を受ける。

鳥取県からの委託を受けて四月七日プレオープン、四月二十七日岸沢俊介氏を招いて開設記念講演・シンポジウムを開

催した。六月二日には、平井伸治鳥取県知事、藤森和幸鳥取労働局長参加のもとに鳥取駅南口前のフコク生命ビル内の事務所開きが行われる予定である。

年間予算二千三百三十八万三千円で、臨床心理士、キャリアコンサルタント五名の職員配置を行ってニート引きこもり支援事業を行う。

※二〇〇八年度、

児童養護施設定員四十五名・七ホーム(職員二十七名)、乳児院定員十五名・三ホーム(職員二十三名)、情短施設入所定員三十名通所定員十五名(職員二十七名)・四ホーム、一時保護ホーム(職員三名)・一ホーム、入所三施設計十五ホーム・職員八十名体制を構築。

標記三施設に、保育所定員百五十名(職員三十一名)、自立援助ホーム二ホーム定員計十二名(職員四名)、児童家庭支援センター(職員三名)、地域若者サポートステーション(職員五名)を加えれば、法人全体の常勤職員は百二十名に上る。

自助努力とともに、ケア単位の小規模化促進と職員配置基準の抜本的改正を求めたい。

2007年度各施設の月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未 満 児	2 <sup>45</sup> <sub>6</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>6</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>6</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>6</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>6</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>6</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>7</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>8</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>8</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>8</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>8</sub>	2 <sup>45</sup> <sub>8</sub>	24 <sup>538</sup> <sub>83</sub>
	乳 児 院	6 <sup>8</sup> <sub>2</sub>	7 <sup>9</sup> <sub>2</sub>	6 <sup>8</sup> <sub>2</sub>	6 <sup>8</sup> <sub>2</sub>	6 <sup>8</sup> <sub>2</sub>	8 <sup>10</sup> <sub>2</sub>	9 <sup>12</sup> <sub>3</sub>	9 <sup>11</sup> <sub>2</sub>	11 <sup>13</sup> <sub>2</sub>	11 <sup>13</sup> <sub>2</sub>	11 <sup>13</sup> <sub>2</sub>	11 <sup>13</sup> <sub>2</sub>	101 <sup>126</sup> <sub>25</sub>
情短施設	入 所	30	30	29	30	30	28	29	30	30	30	30	30	356
	通 所	8	9	9	10	10	9	8	8	8	9	9	9	105
		実人数：1,872人 延人数：3,001人												
子ども家庭支援センター希望館		実相談件数(来所244、電話58、訪問216)：518件、延相談件数(来所584、電話253、訪問230)：1,067件												
鳥取フレンド		6	7	7	7	7	7	7	7	7	5	4	2	73
倉吉スマイル		5	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	62
保 育 所		156	159	161	162	163	162	166	166	168	168	167	166	1,964
子育て支援センター	利用家庭数	135	151	230	177	196	259	269	227	186	165	240	270	2,505
	一日平均	7	6	9	8	9	13	11	9	8	9	10	10	109

本部会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減(Δ)額
補助金収入	59,593,000	59,593,630	630
寄付金収入	10,000,000	9,958,889	Δ 41,111
雑 収 入	3,700,000	3,948,752	248,752
繰入金収入	880,000	880,000	0
受取利息収入	0	33,267	33,267
積立預金取崩収入	7,210,000	6,749,100	Δ 460,900
合 計	81,383,000	81,163,638	Δ 219,362

支 出

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減(Δ)額
人件費支出	1,790,000	1,829,632	39,632
事務費支出	10,275,000	10,242,891	Δ 32,109
元利償還金	5,539,000	5,539,940	940
繰入金支出	4,930,000	4,704,855	Δ 225,145
合 計	22,534,000	22,317,318	Δ 216,682

収入支出差引残金の ¥58,846,320 - は次年度繰越

児童養護施設

鳥取こども学園

土曜学校山菜採りに行ってきました

土曜学校は学園・希望館の小中学生を対象に、神さまを礼拝し、ゲームや工作などを取り入れて聖書に親しみ、日本キリスト教団鳥取教会(鳥取市西町)の先生方と子どもどうしの交わりの中で、心の成長をはかることを目的としています。

さて、五月三日(土)の晴天の中、毎年恒例となつています土曜学校の山菜採りに兵庫県新温泉町の久斗山に行ってきました(私、山本初体験)。結構な坂道を車で走り、着いたかなと思つたら、そこは調理をし、会食をする場だそうで、目的の山菜に会えるのはまだ先の方…。気を取り直して、再び運転…更に坂道をいや未舗装道路…一〇分ほど走って目的地に着。日陰には、まだ雪が残っていました。早速山菜採り開始!

子どもたちは斜面を登り、ウド、ワラビなど様々な山菜をたくさん採りました。私はフキノトウを探し求めたのですが、結局見つからず…残念。



そして、ランチタイム。皆で、神さまに感謝して「いただきます〜す!」。採った山菜を素揚げしまして、塩を少々ふっていただいたのですが、実に美味。また、「こ

れもおいしいですよ」と出されたのが、藤の花。「は、はなを食べるんですか!」これまた実に美味!ウドの酢味噌和えも実に美味。ごちそうさまでした。最後にみんなで、「ごもさんびか!」

「ごもさんびか」を歌い、今日の恵みを与えてくださった自然、神さまに感謝すると共に、子どもたちの成長を祈り学園への帰路に就きました。追伸:二日後に足が筋肉痛…。

(文) 主任児童指導員 山本隆史

新任職員のご紹介

あざみホーム



保育士 辻 明子

昨年度まで乳児部で働いていました。養護でまだ少ししか働いてはいませんが、乳児部とはここが違う!というところが沢山あり、毎日が勉強です。泣いたり笑ったり、怒ったり…これからの生活があるのかわからないけど、子どもたちを尊重し、自分らしく頑張りたいです。

たんぼぼホーム



児童指導員 前田 亜紀

学園で子どもたちと活し始め、一〇ヶ月が経ちました。子どもたちと一緒にいるのは楽しくて、毎日があつという間に過ぎていきます。四月からたんぼぼホームの子どもたちと一緒に生活しています。子どもたちの笑顔に癒されながら、楽しく毎日をすごしています。

ひまわりホーム



児童指導員 西村 悠

学園に入り一年半、この四月から初めてホームに入ることにしました。これからどんな事で泣き、怒るのか不安もありますが、子ども達に寄り添い、いつでも笑顔忘れずやっていきたいと思っています。

つくしホーム



児童指導員 富嶋 沙織

四月からつくしホームで、子どもたちと一緒に生活をしています。子どもたちと会えた事、成長を見ていける事に幸せを感じています。どう接していけば良いのか悩みながらの毎日ですが、共に成長していきたいと思っています。

ふじホーム



児童指導員 岡 千晶

四月からふじホームで子どもたちと生活しています。今は、毎日がヒックリの連続で、子どもたちの豊富な発想力に刺激を受ける日々です。これから共に様々な感情を分かち合いながら、子どもたちと向き合っていきます。

さくらホーム



保育士 松岡 沙織

十一月からさくらホームで子ども達と生活しています。子どもと過剰して行く中で、感じる事がたくさんあります。これからも「いつも笑顔」をモットーに、一緒に笑ったり、喜んだり、時には叱ったり、子どもと共に歩いていきたいです。

児童養護施設「鳥取こども学園」施設会計決算書

収入 (単位:円)			
科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	150,974,000	151,460,776	486,776
補助金収入	10,070,000	10,070,768	768
寄付金収入	1,017,000	1,080,880	63,880
私的契約利用料収入	0	29,100	29,100
雑収入	906,000	1,012,501	106,501
受取利息収入	21,000	20,282	△ 718
積立預金取崩収入	0	442,312	442,312
合計	162,988,000	164,116,619	1,128,619

支出 (単位:円)			
科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	121,534,000	121,582,231	48,231
事務費支出	5,134,000	5,433,294	299,294
事業費支出	34,831,000	36,081,214	1,250,214
固定資産取得支出	1,020,000	1,019,880	△ 120
合計	162,519,000	164,116,619	1,597,619

収入支出差引残金の ¥0

乳 児 院

鳥取こども学園乳児部

院長 田 中 佳代子

入所十五名の定員で、今年五月の段階で入所十三名、一時保護二名と定員を超える受入であり、しかも、〇歳児の入所や相談が相次いでいる状況に社会の現状が浮き彫りにされている気がして胸が痛みます。

開設一年半を経過し、今やっと外枠が出来てきた段階であり、今後中身の充実と向上が求められることを念頭に、ごどもとの目線に立って保護者と共に子育てに励みたいと思います。連絡が取れてない保護者は課題ですが、保護者の出入りも頻繁となり、にぎやかに過ごすことも多くなりました。今年度は、初めての男性保育士が加わり、母子家庭だった乳児院の雰囲気少し変わってきています。より家庭的な雰囲気になればと思います。

【くろホーム】

- \*ごんべりホーム\*   〇歳児 四名
- 赤ちゃんパワーをもらって頑張るぞ
- \*かりんホーム\*   一〜二歳児六名
- 笑顔の絶えないホームを目指します。
- \*くるみホーム\*   一〜四歳児六名
- 新メンバーも加わり力を合わせて「こー」。

新任職員のご紹介



くろみ保育士 中山 光

ごどもから初めて名前を呼ばれた時、ひざの上にごちよこんと座ってくれた時、一緒に笑った時：ぎゅーと抱きしめたくなる程嬉しかったです。ごどもとの関係はまだまだこれからですが、明るく笑顔で頑張ります。



フリー保育士 園田 秀幸

四月から乳児部でお世話になっていきます。通称『ソソチ』です！ごどもたちからはまだまだひと見知りされちゃう毎日ですが、そのうちみんなから『ソソチ！』と呼ばれることを楽しみに、元気に明るく過ごしていきたいと思います。



どろり看護士 小谷 優子

乳児期は、情緒的社会的発達に不信の段階といわれています。環境や関わりを通じて、感じとる能力が秀でていくのだと私は解釈しています。すべてを委ねる立場の乳児に誠実に接していきたいと思っています。



なかよし園保育士 藤井奈津子

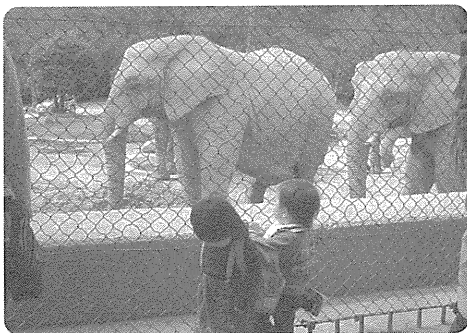
朝、なかよし園にやってくるごどもたちと顔を合わせる瞬間がとても好きです。最近、夢にもなかよし園のごどもたちが出てきます。悪戦苦闘しながらも、やっぱりごどもとてかわいいなあとごどもたちと一緒に過ごせることに幸せを感じています。



すみれ保育士 有田 裕美

- ①・改めまして有田です。
- ②・立派な保育士目指しています。

- ①・たまには弱音も吐きますが、ひたすら笑顔を振りまいて
- ②・六十歳まで働きます。
- ③・皆さんどうぞ末永く
- ④・宜しく致します。



H20.3.18くろみホームで姫路セントラルパークに行ってきました。たくさんの動物にみんな大喜びでした。

乳児院「鳥取こども学園乳児部」施設会計決算書

収 入 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	116,914,000	117,055,213	141,213
補助金収入	2,737,000	2,737,000	0
寄付金収入	160,000	159,500	Δ 500
雑 収 入	45,000	49,149	4,149
受取利息収入	17,000	17,417	417
合 計	119,873,000	120,018,279	145,279

支 出 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	95,301,000	95,478,465	177,465
事務費支出	5,034,000	5,188,497	154,497
事業費支出	7,876,000	8,085,544	209,544
固定資産取得支出	130,000	135,450	5,450
積立預金積立支出	0	10,000,000	10,000,000
合 計	108,341,000	118,887,956	10,546,956

収入支出差引残金の ¥1,130,323 - は次年度繰越

## 情短施設 鳥取こども学園希望館

希望館は五月一日現在、二八名のこどもが入所し、九名の子どもが通所して生活をしています。

昨年度十一月から中高生会を組織し、ほぼ月一回の会議がスタートしました。グループを男女別に分けて開催し、司会進行も子ども自身が担っています。

今年度は小学生会の発足を予定していますが、今回は中高生会男子ブロックで中心的な役割を果たしている、男子生徒のコメントを掲載します。

### 「中高生会だより」

高校2年生 K・Y(男)  
中高生会とは、私たちが施設の中での集団生活をより過「しやすくなる」ために、中学生、高校生が互いに意見を出し合って、施設の職員にその意見の結果を有効化してもらうための会議です。私たちが子どもには、もともと与えられている「自由の権利」があります。それを尊重して与らうという当たり前のことを話しています。

会議の中では、たまに正当化するには難しい意見もあります。そういった意見は、あくまで子どもの私欲のレベルで、職員の方で、難しいと思われた場合、いくら子どもの権利だとしても通らないときもあります。職員も子どもを私たちがあずかっている身なので、無理な意見はのめないことは、わかっています。しか

し、これから職員と子どもみんな楽しんで過ごせるように、話し合いを重ねてがんばっていききたいと思います。

### 新任職員の自己紹介



セラピスト 高橋浩平  
四月から希望館のこぼとホームで、セラピスト兼児童指導員として子ども達と一緒に生活しています。



セラピスト 細川知佳  
四月から希望館の通所部門勤務となった細川知佳です。また、セラピストとして入所児童のカウンセリングも行っています。心理面での助けとなることができるよう、日々精進してまいります。こどもの目線に立つて考えることを第一に心掛けて、彼らと関わっていきたく思っています。どうぞよろしく願っています。



セラピスト 野田 諭  
初めまして。希望館しらゆりホームの野田諭と申します。大学では臨床心理学を勉強してきたので、その知識や経験を生かして子どもと関わって行けたらと思っています。子どもは大好きなので、こどもといろんなことを経験していく中で、職員も子どもも共に成長していけたらと思っています。



ソーシャルワーカー 岸田有加  
『ぶつぶつ占いのライオンは特別扱いが好ぎらしい』  
こども家庭支援センターにソーシャルワーカーとして配属され、あつという間に一ヶ月が経ちました。ほんとに毎日がつてこ舞いで覚えることばかりで仕事もまだまだです。しかし、この学園にはソーシャルワーカーという肩書きは私しかないという特別感に凄くワクワクしています。その気持ちでソーシャルワーカーなら岸田に任せろっていうくらい頑張りたいです。



調理員 西村明子  
調理員の西村明子です。私は、耳にハンディキャップを持っていますが補聴器を付けていて、ほとんど聞くことができます。

職員の方には色々迷惑をかけるかもしれませんが、頑張りたいと思います。また、子どもたちと直接関わることは少ないですが、よろしく願っています。

### 情短施設「鳥取こども学園希望館」施設会計決算書

収入 (単位: 円)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	162,243,000	162,509,416	266,416
補助金収入	5,262,000	5,462,614	200,614
寄付金収入	21,000	21,500	500
雑収入	45,000	209,697	164,697
受取利息収入	11,000	17,114	6,114
合計	167,582,000	168,220,341	638,341

支出 (単位: 円)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	130,317,000	130,541,516	224,516
事務費支出	5,761,000	5,937,154	176,154
事業費支出	23,487,000	23,802,664	315,664
積立預金積立支出	0	6,000,000	6,000,000
合計	159,565,000	166,281,334	6,716,334

収入支出差引残金 ¥ 1,939,007 - は次年度繰越





みなさんは食べる事が好きですか？食に  
関心はありますか？「食育」という言葉が  
広く使われるようになり、最初は難しく  
捉え戸惑っていましたが、様々な研  
修会に出るうちに食育はすでに昔から始  
まっているもの、日常生活で充分出来る  
ものという事がわかり気張らずに取り組  
めるようになりました。食事は養育のた  
めだけにするのではなく、食べ物の大切  
さや感謝の気持ちを知るための場であ  
ると思います。食品に触れ、実際に調理す  
る事で食に対する考え方も変わり、同時  
に心も育っていくと思います。一日の大  
半を保育園で過ごす子どもたちにとって  
保育園で受ける刺激は大きく、新鮮で、  
その中でも給食も大きな役割を果たして  
いると思います。よく遊び、よく食べ、  
よく眠り、そして五感を力いっぱい使う

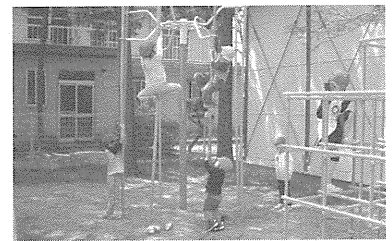
保 育 所

鳥 取 み ど り 園

給食室がう出来ることを

栄養士 金 沢 真由美

事で大きく成長して  
いくのではない  
でしょうか。その  
手助けが出来る保  
育園の給食室で働  
ける事に感謝し、  
食べ物が自然の贈  
り物である事を伝  
え、楽しい会話を  
笑顔あふれる給食  
時間となるように  
これからも励みたい  
と思います。



新任職員としての抱負

保育士 林 田 奈穂子

鳥取みどり園の保育士になり一か月が  
経ちました。元氣いっぱいの子どもたち  
に囲まれながら奮闘する日々です。

一か月の間に子どもたち、保護者の皆  
様、園の諸先生方といったさまざまな人  
との出会いがありました。この出会いを  
大切にし、日々新たな芽吹きとともに成  
長していく子どもたちと一緒に一歩ずつ  
着実に歩んでいきたいと思えます。

みどり園にはさまざまな個性を持った  
一五九名の子どもたちがいます。おしゃ  
べりが大好きで明るい子、動くのが大好  
きでやんちゃな子、照れ屋さんだけど笑  
顔が素敵なお子。一人ひとりが輝いてい  
ます。そのような子どもたちの姿を尊重し、  
大切に育てていく保育をしていきたいと  
思います。

四月は新しい環境となり、戸惑う子ど  
もたちもいました。最初は不安で涙する  
ことの多かった子どもが、日が経つにつ

れ積極的に友だちと関わるようになりま  
した。そばで見守り関わっていくなかで  
子どもが日々見せる新たな芽吹きはとて  
も尊いものです。それをどうやって大き  
く育てるか、日々考え、また手探りの状  
態ですが子どもたち、保護者の皆様、諸  
先生方との関わりを大切にして取り組ん  
でいきたいと思えます。

鳥 取 み ど り 園 行 事

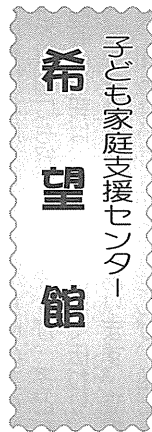
- 12月22日 クリスマス祝会
- 1月19日 参観日(保育参観・座談会)
- 31日 六歳臼歯健康講座(年長児)
- 2月7日 講師 今田哲哉氏(園医)
- 「育児講座」  
講師 入江一枝氏(園長)
- 15、18日 作品展
- 17日 鳥取市児童文化祭
- 23日 修立小学校区保・幼・小交流会  
(年長児)
- 26日 交通安全教室(保護者会主催)
- 28日 シルエット観劇(年長児)
- 3月3日 ひなまつり
- 6日 平成二十年度入所児説明会&  
身体検査
- 14日 お別れ会
- 22日 第五十七回卒園式
- 4月1日 進級式
- 3日 第五十八回入園式
- 23日 春の親子遠足(こどもの国)
- 保護者会総会
- 5月13・14日 蟻虫・尿検査(全園児)
- 15日 健康診断(全園児)
- 園医 清水雅彦氏

保 育 所 「 鳥 取 み ど り 園 」 施 設 会 計 決 算 書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減 (Δ) 額
運営費収入	127,280,100	127,098,500	Δ 181,600
補助金収入	20,612,000	21,034,434	422,434
寄付金収入	354,000	354,000	0
雑 収 入	1,949,000	1,957,803	8,803
利 用 料	600,000	612,950	12,950
受取利息収入	33,000	40,267	7,267
積立預金取崩収入	3,056,000	2,381,003	Δ 674,997
合 計	153,884,100	153,478,957	Δ 405,143

支 出 (単位: 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減 (Δ) 額
人件費支出	130,892,590	130,454,195	Δ 438,395
事務費支出	4,479,510	4,652,236	172,726
事業費支出	17,278,000	17,282,526	4,526
固定資産取得支出	354,000	210,000	Δ 144,000
繰入金支出	880,000	880,000	0
合 計	153,884,100	153,478,957	Δ 405,143

収入支出差引残金 ￥0



子ども家庭支援センター「希望館」のソーシャルワーカーとして新しく配属となった私の豊富

岸 田 有 加

ソーシャルワーカーとはなんぞや??  
何をするのか? 必要なのか?  
ソーシャルワーカーと聞いてまずそう思うのではないだろうか。  
ソーシャルワークとは人を支援していく中でとても大切なことです。その人がその人らしく生きていくために自分と繋げるだけでなく、その人をとりまく環境を最大限その人に活用できるように繋げていく、その人の今だけではなくこれからも考え支援していくこと、それがソーシャルワークなのです。しかしそれはソーシャルワーカーだけが考えていることではなく誰もが思っていることではないでしょうか。指導員、セラピスト、学校、それぞれがその人にとって一番必要なことを違う見方(専門)で考えている。どれも正しいのではなく違った見方全部が正しくて必要で、それを幅広い視野でとらえ、それぞれを繋げていくことが私の考え

平成19年度 児童家庭支援センター運営事業実績報告書 (H20.3.31現在)

A. 個別相談・指導実績

(1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	56	43	26	39	36	55	48	54	32	50	37	42	518
継続相談人数	0	60	51	60	41	40	45	36	47	41	46	36	503
月別相談実件数	102	103	77	99	77	95	93	90	79	91	83	78	1,067

(2) 月別相談延件数

注 ※実人数は、新規及び継続で相談を受け付けた人数とする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	33	34	27	26	11	20	24	13	16	16	15	18	253
来所相談	22	16	19	14	18	32	19	16	30	15	17	22	250
訪問相談	23	26	4	19	20	18	23	35	3	36	22	11	230
通所指導	10	12	12	15	10	12	9	10	11	9	6	9	125
心理療法等	14	15	15	25	18	13	18	16	19	15	23	18	209
メール相談													
手紙相談													
その他( )													
月別延件数	102	103	77	99	77	95	93	90	79	91	83	78	1,067

(3) 相談・指導内容の種別件数

※(再)は再掲

養護	育 成							いじめ	DV	その他	合計	
	虐待(再)	保健	障害	非行	性格行動	不登校	適性					しつけ
233	16	0	8	3	24	22	207	6	3	1	11	518

(4) 相談経路別受付数

※新規受理人数①と④は同数

児童相談所	県・市町村			警察等 ・家庭裁判所	保健所 及び医療機関	学校等	里親・ 児童委員等	家族 近知	隣人	児童 本人	18 歳以上 本人	その他	合計
	福祉事務所	福祉施設	その他										
129	92	198	8	0	0	5	0	77	3	1	4	1	518

(5) 児童相談所からの委託による指導(指導委託)

※新規受理人数①と④は同数

<対応延べ数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	2	1	1	3	1	2	1	1	0	2	1	17

<指導内容の種別>

養護	育 成							いじめ	DV	その他	合計
	虐待(再)	保健	障害	非行	性格行動	不登校	適性				
2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3

(6) 夜間の対応及び一時保護 (単位:件数) ※( )内には延べ日数を記入すること。※件数は利用者実人数のこと。

夜間の対応				合計	一時保護				合計
電話	来所	訪問			一時保護①	ショートステイ②	トフライイト③	その他の保護④	
63	11	4	78		124件 (2083日)	37件 (180日)	54件 (112日)	2件 (5日)	217件 (2,390日)

注 ※夜間とは18時～翌日9時までの時間帯とする。

ソーシャルワークでありソーシャルワーカーなので。  
:と思うのですが、子ども家庭支援センターのソーシャルワーカーとして配属されて一ヶ月、まだまだセンターの仕事覚えて慣れるのにてんてこ舞いで何もできてないのですが、これが私の目標で、これから少しずつ見つけていこうと思う

ソーシャルワークだと思っています。  
平成十九年度の相談支援活動は左記の表のとおりです。  
学園だより第二十二号(二〇〇七年十一月一日発行)でも述べましたように家族や親の子の悩みを傾聴し、継続に支援していくという事例が増えてきている傾向にあります。

子ども家庭支援センター「希望館」施設会計決算書

収入 (単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	9,415,000	9,415,000	0
繰入金収入	2,725,000	2,704,855	Δ 20,145
合計	12,140,000	12,119,855	Δ 20,145

支出 (単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	10,404,000	10,358,687	Δ 45,313
事務費支出	1,736,000	1,761,168	25,168
合計	12,140,000	12,119,855	Δ 20,145

収入支出差引残金 ￥0

## 自立援助ホーム 鳥取フレンド

十九年度は、男子五名、女子一名でスタートしましたが、五月からは一時保護から継続しての入所があり、一月まで七名の寮生が生活をしました。行き詰ったOBの為にと使用していなかった離れの部屋を利用しました。本来六名定員なので少し無理があったかも知れませんが、ホーム内の雰囲気は、寮生と職員とで作っていくものです。昨年度の場合は、

在籍が長期になつている寮生四名に、若年の男子一名、女子二名が加わり、いくらかで上がつている空気の中に、三人が新風を吹きこみました。しかも、男子ばかりだった中に女子の入所があり、各人がそれぞれに気を遣つて過ごしはじめました。年功序列という訳ではないのですが、年長者はそれなりに年下の子たちへの影響力もありました。それぞれに、『自立』に必要な援助は異なるものとかかつていても、職員のそれぞれへの対応に「それはおかしいじゃないか!？」と抗議してきたり、「なんでオレにはしてくれんか?」と甘えてみたり…。職員も、一つ例外を認めると、わけのわからなくなる状況でした。こんな時こそ、個別で話すことを大切にしなければならぬ事、根本にある本人の目標にできるだけより添う事を、こちらとしてもしっかりもつていなければなりません。集団の力の怖さを以前にも経験していますが、子ども同志の情報は、怖いくらい早く伝わり、内容も驚かされるものもあります。立場上、仕方ないかも知れませんが、私たち

の知らない事、子どもだけの共有部分も多々あるのだからと思つています。昨年度は、新しい環境で働かなければならぬ状況と、寮生同志の関係づくりに悩んで、ストレスから胃痛を訴え、通院した子もいました。年長者の方は、『放つたらかされ感』も感じていたのではないかと思います。それでも、各人が何かしら仕事をして生活しました。

そして、在籍が長期になつていた寮生も、一月〜三月にかけて、次々に退所することになりました。「いつまでも居られない」ことは理解していても、仕事・お金の状況はままならず、このままでは生活はできていても、気持ちは苦しいばかりだったのではないのでしょうか。一人が退所を決意すると波及していき、二月に一人、三月に三人がフレンドを出ることになりました。形はさまざまですが、社会の厳しさを実感していることでしょう。「もう少しフレンドに居れば良かった」「ごはん食べに来ていいか」と言う子もいます。

そして、三月に男子一名、四月に男子一名の入所があり、現在三名の寮生が生活を始めています。新任職員も加わり、フレンドの離れに住み込んでいます。又、五月中にもう一人、入所の予定もありません。

縁あつてフレンドへやつて来て、仕事もそれぞれ異なり、皆一緒に過ごすことは少ないですが、アパートで一人暮らしするのは違う人間関係を共に生活することで積み重ね、また、新しいフレンドの雰囲気が生まれると思います。たくさんの方々の援助に感謝して今年度もスタートします。

### 自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計決算書

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	812,000	812,250	250
補助金収入	8,548,000	8,548,000	0
寄付金収入	60,000	60,000	0
利用料収入	1,590,000	1,508,000	Δ 82,000
雑 収 入	382,000	576,381	194,381
受取利息収入	2,000	4,406	2,406
繰入金収入	2,200,000	2,200,000	0
積立預金取崩収入	13,000	0	Δ 13,000
合 計	13,607,000	13,709,037	102,037

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	10,392,000	10,307,808	Δ 84,192
事務費支出	1,268,000	1,313,627	45,627
事業費支出	1,947,000	1,887,602	Δ 59,398
繰入金支出	0	200,000	200,000
合 計	13,607,000	13,709,037	102,037

収入支出差引残金の ¥0

## 自立援助ホーム 倉吉スマイル

今年、倉吉スマイルでの生活が四年目を迎えました。現在、十七歳と十八歳の男の子五人で生活しております。

毎回この学園だよりでは寮長から見たスマイルでの子どもたちの様子などを伝えてきましたが、このたびは、もつとここで生活している子どもたちのことを知ってもらうためにはどうしたらいいだろうかと考え、寮生全員に承諾をもらつて、一人ひとりにインタビューをすることにしました。

☆何歳ですか？

A 十七歳。

B 十七歳です。

C 十七歳です。

D 十八歳…十九だー…待つてよ…、

十八歳だ!

E 十八歳。

☆スマイルの利用期間は？

A えつとちよつと待つてよ…一年六ヶ月かな。

B もつそろそろ一年になります。

C 十ヶ月ですね。

D 二、三年くらいじゃない。

E 二ヶ月。

☆あとどれくらいスマイルを利用したい？

A なぞですな。



- B 一年もないと思います。
- C 高卒前後まで届まうと思つたのであと二年ぐらいです。
- D あと…どれぐらいだろう…一、二ヶ月かな。
- E がんばって一年。
- ☆今の仕事は何ですか？
- A スーパーの陳列とそうじ。「何屋さん？」お肉屋さん！
- B ……、ノーコメント。
- C ペンキ屋です。今はラーメン屋の面接の結果待ちです。
- D えっ、今の仕事？…無職ーえへっ。(新しい仕事を探し中)
- E なんだろっ…、作業所の手伝い…？
- ☆今までやった仕事は？
- A 飲食店、花を育てる仕事…造園？
- B 農業、スーパー、選果場。
- C ないです。
- D いろいろ…ケーキ屋、マクドナルドかな。
- E 郵便局(配達)。
- ☆スマイルに来て良かったことは？
- A えっ…、特にない！
- B 良かったこと…、特にない…。
- C 自分が変わったというか…、自分の気持ちが変わったということ。良かったことか…、いろんなことで面倒見てもらったり、自由がきくこと。
- E 自由な方…なところ。☆不満に思っていることは？
- A えっ…、特にない！
- B 特にない。
- C 人それぞれ違った環境で育ってきたのはわかるけど…みんなももっと楽しく話せるような環境を作っていたらなと思う。
- D 別にないで。
- E 遠い!!…、駅から遠い!!
- ☆スマイルに望むことは？
- A 携帯はすぐ持ちたい!!
- B 特にない。
- C もっと市内に近いところにスマイルがあつたらいいな…。
- D 特にない。
- E 望むこと…、今のところ何もなし。
- ☆今一番やりたいことは？
- A えっ…ゲーム。
- B しばふの上でごろ寝したい。
- C 親を温泉旅行に連れて行ってあげたい。
- D 今やりたいこと…、わからん。
- E やりたいこと…仕事。あははっ!
- ☆将来やってみたいことは？
- A 宝くじを当てたい!。
- B 将来やってみたいこと…、海外でやるボランティア!砂漠に木を植えるとか。
- C 今はまだわからないけど…今は生きるのが精一杯で将来のことはもつ少しゆっくり考えてみたい。
- D やってみたいこと…、特にはわからん。
- E ない。今は…、今は仕事探してやるしかない!
- ☆最後に何か一言あれば？
- A ない!。

B 部屋にクーラーが欲しい!!。

C これからも願います。

D ……まあ…今もそうだけど、いろいろ結構こうやって話をしたり、相談できたり、聞いてくれたことに対して感謝している…ありがとうかな。

E 特にないです。…がんばってください。

インタビューを終えて

初めての試みで、聞く私も、聞かれてる寮生もちょっぴり緊張気味で普段話している時とは少し違った空気が流れていました。しかしそれぞれの言葉の中に、彼らの本質が見え隠れしているなと感じることができました。特に「不満に思っていること」や「スマイルに望むこと」について本当は、いっぱいあるんだと思います。でも気をつかったり、まだ言えなかつたりしたんでしょう。彼らと日々接している我々は、彼らに「自由でありのままのあなたでいいんだ」と感じてもらえらるような存在で、ある、ことがとても大切なことだと実感しました。

みなさんは、彼らの一言一言をどう感じ取られましたか?それぞれ異なる環境で育ち、縁あってここ倉吉スマイルで生活をともにして、かれらはそれぞれの向かう道を自分の力で、自分のペースで進んでいこうとしています。今後ともご支援よろしくお願いたします。

機会があれば一度倉吉スマイルに寄ってみてください。子どもたちもとても喜ぶと思います。

(インタビュー 田村 崇)

自立援助ホーム「倉吉スマイル」施設会計決算書

収 入 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	3,284,000	3,284,760	760
補助金収入	8,528,000	8,528,000	0
寄付金収入	50,000	50,000	0
利用料収入	710,000	730,000	20,000
雑 収 入	818,000	818,280	280
受取利息収入	2,000	5,452	3,452
合 計	13,392,000	13,416,492	24,492

支 出 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	7,662,000	7,633,099	Δ 28,901
事務費支出	1,829,000	1,861,896	32,896
事業費支出	3,701,000	3,749,065	48,065
固定資産取得支出	550,000	508,699	Δ 41,301
合 計	13,742,000	13,752,759	10,759

収入支出差引残金 ￥ Δ 336,267-

# はじめまして 「とっとり若者 サポートステーション」

富本 哲郎

とっとり若者サポートステーションは、六月二日より、鳥取駅南のフコク生命鳥取駅前ビルにおいて、既設のとっとり若者仕事プラザに併設してオープンいたします。

近年、雇用情勢の悪化にともない、若年層の就業状況は厳しく、無業の状態にある若者が相当数にのぼっています。このような背景をもとに、平成十八年から地域若者サポートステーション事業が始り、今年度で全国七十七団体での開設となりました。

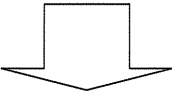
鳥取県では、鳥取こども学園が厚生労働省と鳥取県から委託を受けて、平成二十年度に開設することになりました。

とっとり若者サポートステーションは、概ね三十五歳未満の無業者を対象に就業支援するもので、四月七日より鳥取こども学園の地域交流ホーム二階で総合相談を中心として、四月二十七日には、オープン記念事業として、社会評論家芹沢俊介氏の「引きこもりとニートの現状（裕差社会の外に）」の講演と鳥取こども学園長藤野興一氏、芹沢俊介氏、鳥取県精神保健福祉センター所長原田豊氏、鳥取県商工労働部経済・雇用政策総室雇用就労支援チーム副主幹久保田康之氏による「とっとり若者サポートセンターに期待すること」をテーマにパネルディスカッションを開催し、約八十名のかたの来場がありました。

## 事業内容の紹介

とっとり若者サポートステーションは、不登校、高校・大学等の中退、ひきこも

- 1 無業者：社会的自立、職業的自立に悩んでいる若者
- 2 保護者等：若者の支援で悩んでいる保護者
  - 中学校・高校卒業未就職、高校・大学等の中退、不登校、引きこもりなど
  - 働けない、働くことに不安、働くことに自信が持てない、人付き合いが苦手、今の自分を変えたいなど



**総合相談事業**  
○キャリアカウンセラー、心理カウンセラー  
○個人に合った適切な支援方法を検討する。



**社会的自立・職業的自立を支援する**  
○グループ活動や、共同作業を通しての体験  
○ボランティア体験、しゃべり場、作業体験、コミュニケーション練習など  
○職場見学、経験談を聞く、職場体験、就職準備セミナー



**外部機関との連携**  
○ハローワーク、とっとり若者仕事プラザ、(独)雇用・能力開発機構、(財)ふるさと鳥取県定住機構  
○障害者職業センター、発達障害支援センター  
○医療機関  
○精神保健福祉センター  
○学校など教育関係機関  
○NPO法人など

りなど「働きたくても働けない」事情を抱えた、また「働くのに自信の持てない」で、ハローワークやジョブカフェに就労の支援を求められない若者を対象に、総合相談事業や職業意識啓発事業、職場いれあい事業などをおして、社会的、職業的自立に向けた支援を行う場所です。

## ① 総合相談事業

悩みを抱えた若者に対して、キャリアカウンセラーが、キャリア形成について総合的な相談支援を実施するとともに、メンタル面のサポートが必要な若者には、心理カウンセラーが心の相談を行います。

また、個人に合った適切な方法とメニューを相談者と決めて支援することにも必要に応じて外部の専門的な支援が受けられるように適切な機関・団体への誘導を図ります。

## ② 職業意識啓発事業

総合相談事業をおして、働くことに対する自信や意欲が不足していると思われる若者にたいして、実際に働いている人の仕事体験談を聞いたり、実際の作業を見学したり体験することにより、「働かなく」意識の醸成や共同作業の必要性の「気づき」、「意欲の向上」を促すなどの職業的自立支援事業を行います。また、「人付き合いが苦手」「今の自分を変えたい」「自分の思いを話せる場所がない」など、自分を変えたいとする若者に対し、

「しゃべり場」や「ボランティア体験」、「コミュニケーションスキルセミナー」などのグループワークをおして、社会的自立支援を行います。

## ③ 保護者対象の相談

若者のことで悩める家族に対し、セミナーの開催や個別面談の実施などにより、若者の自立に向けた支援の方法や若者への接し方などの悩みを共有して、一緒に考えます。

## ④ 他の若者支援機関との連携

必要に応じて、他の若者支援機関に誘導し、各機関と恒常的な連携が確保できるように努めるとともに、支援対象者となる若者の把握と個人情報保護条例等のために配慮しつつ、他の機関との情報交換に努めます。

## \*お待ちしています

「とっとり若者サポートステーション」では、キャリアカウンセラー(三名)心理カウンセラー(二名)の五名のスタッフが、様々な悩みを抱えた若者を応援しています。

多くの若者と出会い、一緒に考え、歩むことが、お互いの人間性を深めていく大切なプロセスと考えます。わたくしたちスタッフは、「働けない」事情を抱えた若者に寄り添い、第一歩を踏み出すための支援をしています。一人で悩んでいないで、気軽に訪ねてみてください。まずは、お電話ください。

・相談日 月曜日～土曜日(日曜・祝日を除く)  
・時間 午前10時～午後6時  
・電話 〇八五七二二一四一四〇

# 当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。


前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、  
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は  
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

## 寄 付 者 (2007. 12月～2008. 5月)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(社福)あけの星会会長 根道温子	下 石 洋 子	杉 村 英 子	鳥取市少年少女合唱団团长 財田俊子
愛 真 幼 稚 園	海 藤 ひろみ	曾 我 修 道	鳥 取 市 仏 教 会
相 見 罔 臣	学 園 玄 関 前 募 金 箱	大 源 真 美	鳥 取 少 年 鑑 別 所
赤 畑 仁 司	柏 女 霊 峰	高 橋 伊 佐 夫	鳥 取 市 立 東 中 学 校 職 員 一 同
秋 崎 るり子	勝 原 俊 恵	高 橋 昌 文	鳥 取 新 生 教 会
朝 倉 通 憲	加 藤 和 徳	田 賀 由 美 子	鳥 取 中 央 郵 便 局 局 長 富 田 明
浅 田 悦 子	加 藤 金 属 興 業 (株)	柘 植 ま さ 子	鳥 取 東 京 山 脈 11 回 生 甲 信 越 同 窓 会
安 住 庸 雄	加 藤 知 子	竹 本 薫 子	鳥 取 友 の 会
雨 河 一 就	叶 原 土 筆	竹 本 伸 子	鳥 取 み ど り 園
安 西 義 忠	株式会社千代エンジニアリング	田 子 純 子	鳥 取 ラ イ オ ン ク ラ ブ 会 長 佐 々 木 豊
飯 塚 幹 夫	川 上 広 枝	田 中 淳 夫	戸 村 誠
五 百 川 孟	川 口 孝 一	田 中 儀 衛	鳥 山 玲 子
井 口 壬 生	川 口 佐 七	田 中 耕 自	中 尾 直 昭
池内心とん店 池内泉子	川 端 勇 次	田 中 宏 明	中 尾 文 裕
石 井 衛	河 本 充 弘	谷 口 繁	中 川 正 道
石 田 耕 太 郎	菊 池 ト シ	谷 口 尚 子	中 嶋 哲 一
石 田 文 三	岸 田 剛 一	タニグチヘアサロン谷口義明	中 西 徹
石 渡 禎 一	岸 律 子	谷 詰 万 寿 子	中 村 歯 科 医 院
磯 田 教 子	きむら耳鼻咽喉科医院	谷 本 正 道	菜の花総合法律事務所弁護士 駒井重忠
伊 谷 周 一	木 村 肇	玉 木 敏 久	信 原 修 ・ 朝 子
市 川 元 子	久松伊吹植物園	田 村 愛 子	梅 翁 院 片 山 正 見
井 上 恭 子	国際ソブチミスト鳥取会長西川八重子	田 村 明 子	萩 原 医 院
井 上 裕 子	小 谷 寿 子	束 原 克 美	橋 詰 隼 人 ・ 一 枝
井 上 ヌキ江	後 藤 あ かね	土 江 浜 代	橋 本 外 科 医 院 橋 本 英 宣
岩 田 美 代 子	歳末チャリティ餅つき大会実行委員	常 松 佐 代	橋 本 恵 美
宇 都 宮 靖	坂 井 芙 美 子	鶴 見 厚 子	畑 山 博 史
内 海 敏	酒 巻 佐 代 子	手 皮 小 四 郎	馬 場 徹
梅 澤 潤 一	佐 々 木 健 一	天 徳 寺	浜 田 久 美
エキスパートチャリティアソシエーション	佐 々 木 政 枝	戸 田 倫 弘	林 敬 二 郎
奥 羽 徳 行	貞 光 由 紀 江	鳥 取 い な ば ラ イ オ ン ク ラ ブ	林 義 雄
大 角 美 佐 江	澤 田 敬	鳥 取 医 療 器 (株)	パ ル ス 電 工 (有)
大 平 千 恵 子	澤 田 孝 義	鳥 取 教 会	日 立 金 属 労 働 組 合 鳥 取 支 部
岡 田 レ ミ	山陰歌謡学院汐風の会リズムっくらぶ	鳥 取 教 会 シ オ ン 会	平 野 辰 郎 ・ 和 江
岡 村 俊 作	サンライズ工業株式会社	鳥 取 鶏 卵 販 売 (株)	福 島 庸 二
冲 正	柴 田 和 仁	鳥 取 県 教 職 員 組 合 東 部 支 部	福 田 源 次 郎
奥 野 隆 一	柴 田 尚 美	鳥 取 県 労 福 協 東 部 支 部	藤 井 重 明
尾 崎 美 幸	清 水 雅 彦	鳥 取 更 正 保 護 女 性 会	富 士 一 郎
尾 崎 俣 子	城 北 小 学 校 PTA	鳥 取 国 府 更 正 保 護 女 性 会 会 長 坂 手 愛 子	藤 井 喜 臣
小 原 知 子	新 品 治 町 四 ツ 葉 会	鳥 取 市 社 会 福 祉 協 議 会 職 員 一 同	藤 岡 知 夫

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
藤野 興一	真鍋 永	森本 志津江	米子信愛鍼治療院 松本剛典
藤原 雅夫	ま る な 亭	山 口 登 貴 子	米 村 友 孝
古川 潤一	丸 山 順 子	山 田 太 郎	米 本 内 科
古田 操子	三 木 康 二	山 田 智 恵 子	脇 本 雄 一 郎
星加 忠孝	三 島 幸 子	山 根 一 昭	渡 辺 隆 夫
堀内 医院	三 代 修	山 根 一 夫	(株)三栄 代表取締役徳田照夫
前田 宏治	水 谷 昭 二	山 根 百 合 子	(株) テ ク ノ 工 業
前田 豊	水本クリニック 水本 清	山 本 智 丈	(株) 中 井 脩
巻田 豊	溝 口 葉 子	山 本 伸 子	(株) ニ シ 才
政田 淑子	光 田 澄 子	山 本 博	(株) ヤ マ ネ 機 材
松岡 京子	宮 脇 政 光	湯 谷 眞 人	(有) 亀井堂 地原忠実
松田 晃幸	無 名 氏	湯 村 正 仁	(有) 常 田 薬 局
松田啓生・倫子	望 月 彰	横 濱 雄 介	
松原 菜津子	本 部 友 子	吉 田 恵 子	
松本 勲	盛 田 和 子	吉 田 初 恵	

物 品 寄 付 者 (2007.12月~2008.5月)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(財)資生堂社会福祉事業財団	大 坪 まさひろ	手 皮 小 四 郎	日 本 出 版 (株)
(社福)ミッドナイトミッションのぞみ会	河 村 廣 實	鳥取キルティングクラブ	野 倉 恵
秋 崎 るり子	木 下 麻 希	とっとりキルトクラブ 谷よし子	ぱ に 一 に
浅 井 慶 紀	北 村 めぐみ	とっとりキルトクラブ 林	みなみ歯科医院理事長 石田雅栄
池 田 晴 隆	倉 本	鳥取敬愛高等学校Sクラブ	無 名 氏
石 田 稔	黒 川 和 子	新聞公正取引協議会鳥取県支部	安 田 園 子
井 田 さやか	塩 見 研 吾	鳥取県中小企業団体中央会	ヤッホーキッズ事務局
今井書店倉吉支店	清 水 たかお	鳥取県福祉保健部子ども家庭課有志	山 根 一 昭
イヌイ薬局宮長店	シ ャ ド ー ル	鳥取更生保護女性会	(株)USEN 宇野康秀
猪 口 吉 野	修立地区老人クラブ連合会	鳥取市更正保護女性会湖山西グループ	(株)懸樋工務店 代表取締役懸樋義樹
岩倉小学校PTA	しらゆり保育園	鳥取中央ライオンズ	(株)ジャパンエナジー
上田包装企業(株)鳥取支店	進 藤 ゆかり	鳥取ライオネスクラブ	(株)竹中工務店鳥取営業所
馬 田 徹	大 樹 寺	鳥 谷 博 泰	(株)ド ー ル
海 陽 亭	谷 詰 万寿子	西 尾 美 智 子	(株)ミ シ ニ オ
とっとりキルトクラブ 江住弘子	田 村	日 本 海 T V 綱 本	(株)ユニクロボランティアクラブ
エムエイオフィス	中国アイスクリーム協会	日 本 鏡 餅 組 合	(有)香風堂 三芳順子

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。